

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 8 月 29 日(2023.8.29)

【公開番号】特開 2022-70936(P2022-70936A)
【公開日】令和 4 年 5 月 13 日(2022.5.13)
【年通号数】公開公報(特許)2022-084
【出願番号】特願 2022-18581(P2022-18581)
【国際特許分類】

C 0 8 J 5/18(2006.01)

10

B 3 2 B 15/08(2006.01)

C 0 8 J 7/00(2006.01)

H 0 5 K 1/03(2006.01)

【F I】

C 0 8 J 5/18 C F D

B 3 2 B 15/08 J

C 0 8 J 7/00 3 0 1

H 0 5 K 1/03 6 1 0 H

【手続補正書】

20

【提出日】令和 5 年 8 月 18 日(2023.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学的に異方性の溶融相を形成し得るポリマー（以下、熱可塑性液晶ポリマーと称する）で構成された、熱可塑性液晶ポリマーフィルムであって、
10 分～1 時間の熱処理により、フィルム内に斜方晶構造の結晶を生成し得る、
熱可塑性液晶ポリマーフィルム。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムにおいて、前記熱処理が、前記熱可塑性液晶ポリマーの融点 T_m 以下で行われる熱処理を含む、熱可塑性液晶ポリマーフィルム
。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムにおいて、1 時間の熱処理により、フィルムの融点 T_m が 325 以上に上昇する、熱可塑性液晶ポリマーフィルム。

【請求項 4】

40

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムにおいて、融点上昇速度 R_{tm} が 0.20 / min 以上である、熱可塑性液晶ポリマーフィルム。

【請求項 5】

熱可塑性液晶ポリマーで構成されたポリマー層を備える積層体であって、
前記ポリマー層が、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の熱可塑性液晶ポリマーフィルムから構成される、積層体。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の積層体において、さらに金属層を含む積層体。

50